

平成24年度事業報告書

実施事業等会計

【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

(1) 障がい者歯科診療事業

より専門性の高い歯科診療が要求される障がい者歯科診療について、専属の会員1名を配置し、毎週木曜日の午後に診療を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	4	3	4	4	3
受診者数	41	50	42	55	43	40

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	4	4	3	4	4	4	44	3.6
受診者数	51	48	38	54	52	55	569	47.4

(2) 口腔疾患予防措置及び歯科相談事業

会員の輪番制で、毎週火曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕（むし歯）の処置等の歯科疾患予防措置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	4	3	4	5	3	3
受診者数	20	4	5	20	12	7

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	5	4	4	4	4	4	47	3.9
受診者数	20	7	15	5	2	12	129	10.7

(3) 歯科健康診断事業

共済組合・事業所健保組合から委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	81
事業所健保組合	5	643

【継続事業２】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業

（１）歯科医学・医術振興事業

① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会

歯科大学の教授を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける学会を開催した。なお、今年度は会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（演題：６題）を併せて開催した。

日 時	平成２４年１２月２日（日）９：３０～１５：００
会 場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県歯科医師会館
演 題	口腔粘膜も歯科医の守備範囲 ～口腔粘膜の病気の診断と対応を再度確認しよう～
講 師	東京歯科大学オーラルメディシン口腔外科学講座 教授 片倉 朗氏
参加者数	会員３５名 その他９名 合計４４名

② 在宅医療推進研修会

県内の介護施設、歯科診療所の従事者を対象として、要介護者・施設入所者の口腔ケアに関する知識習得、訪問診療における医療連携のあり方など、地域医療の充実を目指した研修会を鳥取県歯科衛生士会と共同で開催した。

日 時	平成２５年３月１７日（日）１３：００～１５：００
会 場	米子市両三柳 104-1 鳥取県西部歯科医師会館
演 題	胃ろう・ペースト・ミキサー食（経口）常食へ
講 師	国際医療福祉大学大学院 教授 竹内孝仁氏
参加者数	会員２７名 歯科衛生士１９名 その他・県関係２４名 合計７０名

（２）歯科保健活動助成事業

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会に活動助成金として２０万円を交付した。

（３）歯科保健推進事業

① 県民歯科保健公開講座（鳥取県補助事業／県民カレッジ連携講座）

県民を対象として、正しい歯科保健知識を普及するため、歯と口の健康に関する基本的な知識を分かりやすく説明する講座を開催した。

日 時	平成２４年１０月４日（木）１０：００～１１：３０
会 場	鳥取市尚徳町 101-5 とりぎん文化会館 第１会議室
テ ー マ	最新の歯みがき事情
講 師	鳥取県歯科衛生士会 会長 高場由紀美氏
参加者数	一般４３名 歯科関係者３７名 県市町村関係３名 合計８３名

② 鳥取県口腔衛生関係者研修会

県内の保育士、養護教諭等を対象として、子どもの歯科保健指導の充実を図ることを目的に口腔衛生に関する知識を習得する研修会を鳥取県及び(社)母子保健推進会議と共同で開催した。

日 時	平成24年8月2日(木) 10:00～15:00		
会 場	倉吉市駄経寺町 187-1 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール		
演 題	子どもの口腔機能の発達とその支援 ～すこやかな口 元気な子ども 小児歯科医からのメッセージ～		
講 師	昭和大学歯学部小児育成歯科学講座 教授 井上美津子氏		
参加者数	保育園等 31名	学校関係 18名	県市町村関係 24名 歯科関係 34名 歯科衛生専門学校生 16名 各種団体 6名 } 合計 129名

③ むし歯予防フッ化物洗口事業（鳥取県からの受託事業）

生えだての永久歯をむし歯から守るため、県内の保育園等13園（東部11園、中部2園）を対象として、フッ化物洗口法（うがい）を実施できる体制を整備した。

前年度に作成した鳥取県版フッ化物洗口マニュアルをもとに、園職員勉強会・保護者説明会の開催、洗口開始日での指導及び開始後の巡回指導を行った。併せて、未実施園を対象とした説明会を8回行った。

④ 健口食育プロジェクト事業 相談先体制整備（鳥取県からの受託事業）

鳥取県が実施する標記プロジェクト事業のうち、相談先の体制整備として、子どもの口腔機能向上協力医認定講習会の開催（前年度は東部地区、今年度は西部地区）及び前年度作成した歯科健康教育媒体を使用して、園歯科医師が保育所（5園）などで健康教育を実施した。

日 時	平成24年11月18日(日) 10:00～15:00		
会 場	米子市両三柳 104-1 鳥取県西部歯科医師会館		
演 題	こどもの食べる機能の発達について		
講 師	日本歯科大学 准教授 口腔リハビリテーション多摩クリニック 口腔リハビリテーション科科长 田村文誉氏		
参加者数	会員 29名 衛生士他 42名 その他 7名 合計 78名		

（４）歯科保健普及啓発事業

① 歯の衛生週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

歯の衛生週間（6月4日から10日までの7日間）の日曜日に県民を対象として、歯の衛生に関する正しい知識の普及啓発と歯科疾患の早期発見を目的に、無料で歯についての各種相談（歯みがき、歯並び矯正、粘膜疾患等）、口腔検診、歯石除去、フッ化物塗布を東・中・西部地区の3か所で、地区歯科医師会と共同で開催した。

区 分	東 部	中 部	西 部
日 時	平成24年6月10日(日) 10:00 ～ 15:00	平成24年6月10日(日) 9:00 ～ 11:30	平成24年6月10日(日) 10:00 ～ 14:00
会 場	鳥取県歯科医師会館	鳥取県中部歯科医師会館	鳥取県西部歯科医師会館

参加者数	3 6 7	3 6 8	5 9 7
歯科医師	4 7	2 5	2 7
歯科衛生士	2 5	1 6	3 5

(5) 歯科保健コンクール事業

① よい歯のコンクール事業

生涯を通して歯科保健に対する関心を高め、県民の健康増進を図るため、親子・高齢者・小学校6年生を対象として、鳥取県と協力（親子・高齢者）しながら公正な審査を実施し、被表彰者を決定・表彰、公表した。

《 親子のよい歯のコンクール 》

区 分	一次(地区)審査		二次(県)審査		最 優 秀		優 秀	
	父子	母子	父子	母子	父子	母子	父子	母子
東部地区	1	6	1	1	1	1	—	—
中部地区	3	2	1	1	—	—	1	1
西部地区	2	3	1	1	—	—	1	1
合 計	6	1 1	3	3	1	1	2	2

最優秀 … 鳥取県知事表彰

優 秀 … 鳥取県歯科医師会長表彰

《 高齢者のよい歯のコンクール 》

区 分	予備審査		地区審査		最 優 秀		優 秀	
	65～74 歳	75 歳以上	65～74 歳	75 歳以上	65～74 歳	75 歳以上	65～74 歳	75 歳以上
東部地区	0	2	0	1	—	—	—	1
中部地区	1	1	1	1	1	—	1	1
西部地区	6	7	1	1	—	1	1	—
合 計	7	1 0	2	3	1	1	2	2

最優秀 … 鳥取県知事表彰

優 秀 … 鳥取県歯科医師会長表彰

《 小学校6年生のよい歯のコンクール 》

区 分	地区審査		最 優 秀		優 秀	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
東部地区	2 1	2 7	1	—	1	1
中部地区	1 3	1 2	1	—	—	1
西部地区	1 5	1 7	—	1	1	—
合 計	4 9	5 6	2	1	2	2

最優秀、優秀 … 鳥取県歯科医師会長表彰

② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の小中学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、(社)日本学校歯科医会・(社)日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

《 募集状況 》

区 分	図 画 ・ ポ ス タ ー				ポ ス タ ー		標 語	
	小学校低学年		小学校高学年		中 学 校		小中学校	
	参加校	作品数	参加校	作品数	参加校	作品数	参加校	作品数
東部地区	14	128	3	25	5	27	40	908
中部地区	21	151	6	21	0	0	18	229
西部地区	15	76	0	87	6	53	19	184
合 計	50	355	9	133	11	80	77	1321

《 審査結果 》

区 分	図 画 ・ ポ ス タ ー						ポ ス タ ー		
	小学校低学年			小学校高学年			中 学 校		
	最優秀	優秀	佳作	最優秀	優秀	佳作	最優秀	優秀	佳作
東部地区	—	2	3	1	1	1	1	1	2
中部地区	—	11	39	—	—	5	—	—	—
西部地区	1	5	12	1	5	8	1	2	2
合 計	1	18	54	2	6	14	2	3	4

区 分	標 語		
	小 中 学 校		
	最優秀	優秀	佳作
東部地区	2	3	27
中部地区	1	1	6
西部地区	3	10	10
合 計	6	14	43

最優秀 …… 鳥取県歯科医師会長表彰（各区分から1作品の計4作品）

（6）歯科医療管理事業

① 医療管理講演会

会員及び医院スタッフ等を受講対象として、医療安全対策、危機管理対策、法的知識、接遇マナーなど受診しやすい診療所を目指すため、診療所運営全般に関する講演会を開催した。

日 時	平成25年2月24日（日）10：30～14：30
会 場	鳥取市吉方温泉 3-751-5 鳥取県歯科医師会館
演 題	午前：口腔癌治療最前線 午後：歯科次元医療から見た一次医療機関（開業歯科医院）の重要性
講 師	群馬大学大学院医学系研究科顎口腔科学分野 教授 横尾 聡 先生
参加者数	会員40名 勤務医・スタッフ等11名 その他1名 合計52名

② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

③ 歯科医療会員調査事業

かかりつけ歯科医機能を充実させ、よりよい診療所を目指すため、会員の診療形態・意識・保険制度改正時の対応状況などを調査した。

(7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日夜間歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配布した。

【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業（鳥取県からの受託事業）

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校（鳥取県立歯科衛生専門学校／1年生35名、2年生35名、3年生28名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

そ の 他 会 計

【その他の主要な事業以外の事業】

(1) 社員の福利厚生事業

① 会員フェスティバル

会員相互の親睦交流、健康増進、心身リフレッシュのため、健康に関する講演会やスポーツ、懇親会を全国歯科医師国民健康保険組合鳥取県支部、鳥取県歯科医師連盟と共同で開催した。

《 第一部 各地区対抗親睦野球大会 》

日 時	平成24年8月25日（土）11：15～16：30
会 場	鳥取市千代水三丁目 千代水スポーツ広場
第1試合	◎東部チーム / 中部チーム 17：3

第2試合	東部チーム / ◎西部チーム	2 : 4
第3試合	中部チーム / ◎西部チーム	5 : 16

《 第二部 懇親会 》

日 時	平成24年8月25日（土）18：30～20：30
会 場	鳥取市永楽温泉町 556 ホープスターとっとり
アトラクション	野球大会表彰、歯科国保組合健康表彰、歌謡ショー、福引
参加者数	会員80名 来賓1名 事務局5名 合計86名

《 同好会行事 ゴルフ大会 》

日 時	平成24年8月26日（日）
会 場	鳥取市御熊 586-1 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部
参加者数	22名

② 同好会助成事業

会員の同好会活動の活性化を図るため、野球同好会とゴルフ同好会にそれぞれ8万円の経費の助成を行った。

（2）中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業

中国地区で年1回開催される野球大会に参加し、会員の健康増進や他県との交流を図った。

日 時	平成24年10月7日（日）8：30～
会 場	山口市大字宮野上 237 西京スタジアム
参加者数	12名

法人会計

【法人の管理業務】

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。